

海軍公報

第二千七百四十九號

海軍大臣官房

大正十年十二月二日(金)

○令達

官房第四〇七四號

大正十年度歳出科目左ノ通追加ス

大正十年十二月二日

臨時海軍大臣事務管理

内閣總理大臣 子爵 高橋 是清

歳出臨時部

款	項	目	節	解疏	會計科目 電信略號
(災害費)	轉鶴鎮守府管内 風水害復舊費	建造物復舊			スヤ スク

○通牒

官房第四〇七五號

大正十年十二月二日

海軍次官 井出 謙 治

各 廳 長 殿

醫師名簿整理並醫師現在表報告ニ關スル件

本件ニ關シ左記ノ通り内務次官ヨリ申越ノ次第モ有之候ニ就テハ地方長官ヨリ依頼ノ節ハ相當便宜ヲ與ヘラ

レ度

右照會

追テ左記本文中ノ後段將來當事者ヲシテ制規ノ届出ヲ爲サシムル件ハ海軍ニ於テハ其ノ手續煩瑣ニ有之候間實施上簡便ノ方法ニ關シ交渉中ニ付決定次第追テ通知可致モ當分ハ制規ノ通り取扱フ義ト御承知相成度

記

内務省發衛第二八一號

大正十年十一月十五日

小橋 内務次官

井出海軍次官殿

海軍公報 第二千七百四十九號 大正十年十二月二日

一〇三七

0643

醫師名簿整理並醫師現在表報告ニ關スル件

道府縣醫師名簿ハ去大正元年醫籍藥劑師名簿編成並加
除訂正規程廢止以降醫師法施行規則第六條乃至第八條
ノ規定ニ依ル届出又ハ實地調査等ニ基キ整理相成居候
處近年道府縣廳ヨリノ報告ニ係ル毎年未醫師現在表中
ニハ實際ト相違セルモノ不尠是畢竟當事者ニ於テ制規
ノ届出ヲ懈ル者多キニ因ルモノニシテ就中非開業ノ醫
師中ニ前記規則第七條ノ届出漏相當有之様被認候ニ付
本年未道府縣廳ニ於テ醫師現在表調査ノ際貴省又ハ貴
省所管ノ部隊勤務ノ醫師ニ關シ年未現在者ノ氏名、醫
籍登錄番號共ノ他ニ付地方長官ヨリ申報方及御依頼候
節ハ乍御手数數調査上相當便宜供與相成候様夫々關係ノ
向ヘ示達相煩度尙將來當事者ヲシテ制規ノ届出ニ注意
セシメ候様併テ示達方可然御取計相成度候
追テ齒科醫師及藥劑師ノ現在調査ニ關シテモ本文ノ
件地方長官ヨリ及御依頼候節ハ右同様可然御取計相
煩度候

○ 辭 令

○大正十年十二月一日

任海軍屬

勳七等 淺田榮一郎

給七級俸

海軍省軍需局附ヲ命ス

海軍屬 淺田榮一郎

依願免本官

海軍技手 赤星 貢
海軍技手 武内 武夫

文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス
從七位勳六等 伊東 榮太郎

佐世保海軍建築部所掌土木工事業務ヲ囑託ス
但報酬月額百貳拾圓ヲ給シ部内限リ奏仕官待遇ト
ス

海軍大學校ニ於ケル海軍刑法教授囑託ヲ解ク
主理 尾畑 義郎

(各通)

海軍大學校ニ於ケル軍制學教授囑託ヲ解ク
主理 佐藤 俊龍
同 小池 廣澄

海軍機關學校ニ於ケル材料學教授囑託ヲ解ク
海軍技師 鈴木 庄藏

海軍經理學校ニ於ケル器械學教授囑託ヲ解ク
海軍技師 大石 鏡吉

海軍經理學校ニ於ケル食品學教授囑託ヲ解ク
海軍技師 高木 眞一

海軍經理學校ニ於ケル建築法教授囑託ヲ解ク(以上
計海軍省)

海軍大學校教官在職中ハ參謀官ト心得ヘシ(計海軍
大臣)

海軍主計少佐 河 勉 三

第三課勤務ヲ命ス(計海軍省經理局)

0644

海軍主計少佐 柳沼 廣三
第一課勤務ヲ命ス(社務海軍省經理局)

○艦船所在

指定ヲ要セス

○十二月二日午前十時調

〔横須賀〕 口長門△、金剛、山城、榛名△、生駒、朝日、三笠、富士、鳳翔、若宮、磐手、北上△、阿蘇、津輕、橋立、滿州、武蔵、千早、巨澤風、沖風△、巖風、矢風、巨沙風、夕風、巨秋風、濠風、羽風、島風、巨夕立、白露、夕暮、三日月、巨神風△、響如月、吹雪△、初霜△、有明△、巨追風△、疾風△、彌生△、浦風、夕風△、薄雲、不知火、巨潜九、潜八、潜一五、潜一四、巨潜二六、潜二五、潜二七、潜二八、潜二九、潜三八、潜三九、潜四〇、潜四一、巨雄、白鷺、鴻、鷗、松江

〔横濱〕 尻矢

〔浦賀〕 五十鈴、菱

〔吳〕 伊勢、球磨、多摩、天龍、巨韓崎、矢矧、扶桑、攝津、鞍馬、伊吹、淺間、日進、平戶、駒橋、千代田、周防、千歲、大和、巨綾波、磯波、浦波、巨谷風、江風、葵、菊、巨萩、藤△、萬、村雨、朝霧、白雲、朝潮、陽炎、巨潜一一、潜一〇、潜一二、巨潜一三、潜一六、潜一七、巨潜二〇、潜一九、潜二三、

巨潜二四、潜三二、潜三四、潜三五、潜三六、潜三七、潜四四、水六七、水六八、水七〇、水七一、龍登呂△、野島△、膠州、室戸、野間

〔大坂〕 阪、鶴見

〔神戶〕 加賀、潜三〇、潜三一、潜三二、潜三三

〔德山〕 劍崎

〔佐世保〕 陸奥、比叡、霧島、日向△、長良、龍田△、敷島、肥前、常磐△、須磨、見島、沖島、最上、巨橋、櫻、樟、桐、巨楠、桂、梅、楓、巨榎、檜、桃、柳、巨榎△、梨△、竹△、椈△、巨栗、柿、梅、楡、巨松風、白雪、野分、葎、葎、巨潜二一、潜一八、巨潜四二、潜四三、潜四五、巨鷲、鷗、雲雀、鶴、蒼鷹、鷓、燕、勞山

〔新舞鶴〕 巨安藝、薩摩△、木曾△、大井△、鹿島、香取、吾妻△、春日、筑摩、勝力△、新高、對馬△、巨若葉、潮、朝風、子日、巨海風、山風、檜、榎、巨時津風、磯風、天津風、濱風、太刀風△、帆風、野風、巨水七三、水七二、水七四、水七五、大泊、青島

〔鎮海〕 巨柏、楠、杉、松

〔旅順〕 巨長月△、水無月△、菊月△、卯月△

〔南洋群島〕 淀、泰安丸

〔浦鹽〕 石見

〔上港〕 關東

〔漢口〕 巨明石

〔長沙〕 雙嶼、剛田

海軍公報 第三千七百四十九號

大正十年十二月二日

一〇三九

0645

【官 昌】 伏見
 【重 慶】 鳥羽
 【新嘉坡】 佐多
 【タラカン】 巽堂
 【シヤーンネス】
 ▶ 出雲、八雲

【航海中】

洲崎(十一月二十日横須賀發「タラカン」へ)
 知床(十一月二十一日「タラカン」發吳へ)
 宇治(十一月二十四日上海發漢口へ)
 松山(十一月二十四日「トラツク」發内地へ)
 利根(十一月二十八日馬公發廈門へ)
 高砂(十一月二十九日吳發横須賀へ)
 口總、椿、檜、桑(十一月三十日大湊發)
 口春風、初春、初雪、時雨(一日大湊發横須賀へ)
 筑前丸(一日「トラツク」發内地へ)

○ 雜 款

○ 旗艦指定
 第三艦隊司令長官ハ本月一日旗艦ヲ安藝ニ指定セリ
 ○ 南洋交通船筑前丸第五回輸送日割
 一、行 先 地 南洋西廻

二、入 港 日 時 十二月九日ノ豫定
 三、出 港 日 時 十二月中旬頃
 四、輸送請求締切 十二月八日午後四時
 五、物件搭載締切 出港時刻ノ二時間前
 六、便乗者乗船時刻 出港時刻ノ二時間前マテニ港務部前ニ集合ノ上乘船セシム
 備考 出港時刻ハ決定次第通知ス
 横須賀海軍港務部

○ 殘務整理

第二艦隊司令部ノ殘務整理ヲ軍艦金剛ニ於テ行フ(第二艦隊副官)

○ 改姓

海軍技手土居秀次郎ハ東京府士族久保家へ入籍ノ旨去月二十八日届出タリ

○ 「ベスト」有菌鼠發見報(十一月三十日 内務省衛生局)

十一月二十九日神戸市高濱倉庫内鼠四「ベスト」疑似菌ヲ認メ同三十日「ベスト」有菌鼠ト決定セリ

○ 正誤

昨日辭令欄一〇三一頁上段遠藏・芳平ハ遠藤・芳平ノ誤

(部内第三頁)

0646

海軍公報

第二千七百五十號

海軍大臣官房

大正十年十二月三日(主)

○辭令

○大正十年十二月二日

(各通)

古川 重太郎
梅村 富太郎

任海軍書記
給七級俸

(各通)

武内 友平
森 源左衛門

任海軍書記
給月俸六拾圓

(各通)

海軍書記 古川 重太郎
同 梅村 富太郎
同 武内 友平
同 森 源左衛門

舞鶴海軍工廠勤務ヲ命ス
給四級俸
依願免本官

海軍書記 兼 井 清
同 兼 井 清
海軍中佐 寺 島 健
同 吉田 善吾

(各通)

恩賜研學資金受賞者銓衡委員ヲ命ス(以上十二月
海軍省)
海軍主計少佐 原 敬太郎
海軍造船大佐 熊 岡 讓
新庄 季九郎

第二課兼務ヲ免ス(計海軍省經理局)

第五部ニ於テ勤務スヘシ
海軍機關少將 清水 得一

總務部ニ於テ勤務スヘシ(以上計海軍艦政本部長)

總務部第二課勤務兼第三部勤務ヲ命ス
海軍中佐 服部 正計

總務部第二課勤務兼第二部勤務ヲ命ス
海軍少佐 岡田 義一

第五部勤務ヲ命ス
海軍機關中佐 赤堀 研吉

第五部勤務ヲ命ス
海軍機關少佐 都築 伊七

第五部勤務ヲ命ス
海軍主計中佐 二村 光三

海軍公報 第二千七百五十號 大正十年十二月三日

一〇四一

0647

總務部第三課勤務ヲ命ス

海軍主計少佐 林 貞雄

總務部第三課勤務ヲ命ス

海軍造船大佐 新庄季九郎

(各通)

同 横山 一

第四部勤務ヲ命ス

海軍造兵大佐 芥川 榮孝

(各通) 海軍造兵少佐 谷村 豊太郎

海軍造兵大尉 山田 幸五郎

第一部勤務ヲ命ス(以上三月海軍艦政本部)

○艦船所在

指定ヲ要セス

○十二月三日午前十時調

横須賀 口長門、金剛、山城、榛名、生駒、朝日、三笠、富士、鳳翔、若宮、磐手、北上、阿蘇、津輕、橋立、滿州、武蔵、千早、巨港、沖風、巖風、矢風、口沙風、夕風、口秋風、瀨風、羽風、島風、口夕立、白露、夕暮、三日月、口神風、響、如月、吹雪、初霜、有明、口追風、疾風、彌生、浦風、夕風、薄雲、不知火、口潜九、潜八、潜一五、潜一四、口潜二六、潜二五、潜二七、潜二八、潜二九、潜三八、潜三九、潜四〇、潜四一、口雄、白鷹、鴻、剛、松江

横濱 尻矢

浦賀 五十鈴、菱

吳 伊勢、球磨、多摩、口天龍、口韓崎、矢矧、扶桑、攝津、鞍馬、伊吹、淺間、日進、平戶、駒橋、千代田、周防、千歳、大和、口綾波、磯波、浦波、口谷風、江風、葵、菊、口萩、薄、藤、葛、村雨、朝霧、白雲、朝潮、陽炎、口潜一、潜一〇、潜二一、口潜一三、潜一六、潜一七、口潜二〇、潜一九、潜二三、口潜二四、潜二二、潜三四、潜三五、潜三六、潜三七、潜四四、水六七、水六八、水七〇、水七一、能登呂、野島、膠州、室戸、野間

大 阪 廣、鶴見

神 戶 加賀、潜三〇、潜三一、潜三二、潜三三、口德 山 劍崎

佐 世 保 陸奥、比叡、霧島、日向、長良、龍田、敷島、肥前、常磐、須磨、見島、沖島、最上、口橘、櫻、榊、桐、口楠、桂、梅、楓、口榎、檜、桃、柳、口榎、梨、竹、口松、口栗、柿、梅、楡、口松風、白雪、野分、霞、草、口潜二一、潜一八、口潜四二、潜四三、潜四五、口鷲、鶴、雲雀、鴈、蒼鷹、鶴、燕、勢山、新舞鶴、口安藝、薩摩、木曾、大井、鹿島、香取、吾妻、春日、筑摩、勝力、新高、對馬、口若葉、潮、朝風、子日、口海風、山風、檜、楨、口時津風、磯風、天津風、濱風、太刀風、帆風、野風、口水七三、水七二、水七四、水七五、大泊、青島

0648

〔鎮〕海 巨柏、榊、杉、松
 〔旅〕順 巨長月、水無月、菊月、卯月
 〔南洋群島〕 淀、泰安丸
 〔浦〕鹽 石見
 〔上〕海 關東
 〔漢〕口 明石
 〔長〕沙 雙龍、宇治
 〔宜〕昌 隅田
 〔重〕慶 伏見
 〔新嘉坡〕 鳥羽
 〔タラカン〕 佐多
 〔シハーネス〕 襟裳、洲崎
 〔航海中〕 出雲、八雲

知床(十一月二十一日「タラカン」發吳へ)
 松山丸(十一月二十四日「トラツク」發内地へ)
 高崎(十一月二十九日吳發横須賀へ)
 巨櫛、榊、桑(十一月三十日大湊發)
 巨春風、初春、初雪、時雨(一日大湊發横須賀へ)
 筑前丸(一日「トラツク」發内地へ)
 利根(二日厦門發枋寮へ)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先
 第十二驅逐隊(綾波、磯波、浦波)宛
 本日以後 旅 順

○ 特務艦襟裳行動豫定變更(十一月十七日日本閣參照)
 地 名 著 發
 タラカン 十二月十三日 十二月二日
 佐世保 三十一日 二十日
 タラカン

○ 旗艦變更
 第一水雷戰隊司令官ハ本月二日旗艦ヲ天龍ニ變更セリ

海軍公報 第二千七百五十號 大正十年十二月三日 (附録六頁、部内限三頁) 一〇四三

0649

海軍公報 附錄

大正十年十二月三日(土)
海軍大臣官房

○辭令

○大正十年十二月一日

海軍豫備一等兵曹

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

土井俊盛 入江信次郎 榎本勉 永田雅夫 小西又雄 山本新七郎 前田秀太郎 緒方敬次 大内秋義 影山貞貞 橋本勝男 上野爲次郎 銀治益三 加藤平次郎 三島國雄 上島收宗 樋口兼松 渡邊毅

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

海軍豫備一等兵曹

箕浦彦八 原田富稔 渡邊實一 吉田榮助 河本源太郎 松尾勇三 武藏玉太郎 迫田喜久次 宇野泰次郎 宮地順吉 山根捨雄 西本紋次郎 上杉憲友 木村治八郎 島本篤一 増本安清 深谷文吉 檜谷志一 中崎寅藏 吉田茂雄

海軍公報 附錄 大正十年十二月三日

0650

同
 海軍豫備一等兵曹
 糸山 健六
 海老名 正信
 間 萬吉
 大久保 賞
 東郷 才二
 小 山 昇
 辻岡 由松
 有馬 喜一
 相山 來一
 柏原 英勝
 西村 北勝
 小出 幸人
 稻富 光五郎
 小原 植鐵
 柘植 正信
 水木 正信
 角田善左衛門
 間坂 竜則
 木原 藤太
 川上 源太
 藤井 良造
 松本 辰造
 河本 辰造
 進藤 類一
 龜井 鶴衛

(各通)

同
 海軍豫備一等兵曹
 原口 熊三
 大岩 正英
 三田 慈治郎
 中山 正策
 松村 寛平
 本坊 太吉
 菊山 玄吉
 伊藤 政一
 野口 政二
 佐藤 勇論
 高橋 藤二
 三輪 信
 新田 光久
 田 巳之助
 田 榮吉
 曾田 榮一
 赤穴 三郎
 日高 末圓
 市岡 忠義
 小島 一
 上原 武瑠市
 神野 琢磨
 阪井 弘輔
 楠元 清明
 小浦 鍊兵衛
 諾 榮太郎

0651

海軍公報 附錄 大正十年十二月三日

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

太田鐵吉 宮原健太郎 芥川十次郎 菊池宿太郎 神保通定 馬場周二 若林善七 片岡熊一 中岡直一 安藤孝吉 瀨脇仲市 本脇貞吉 石松辰男 近藤辰甫 稻垣諭治 三宮直吉 關宮直吉 中塚一彦 岡田忠雄 香田次夫 廣畑徳雄 新井徳二 山口甚太郎 山見安太郎 小寺才次郎

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

江口政三 齋藤三藏 佐伯道三 徳田為義 宇於字八 池田秀穂 三根勝次 井原右衛門 森本小一 江崎廣治 奥平麟太郎 柳田壽一 松浦寅之助 宮川義雄 河村佐一 有田寅雄 浦郷寅治 道山龜治 森別府勝次郎 岡別府銀藏 石灰與三 加賀谷珣治 川崎盛治 廣瀬健治 長尾光佳

0652

海軍豫備一等兵曹

西齒 佐吉
松江 夏三
三好 卯郎
大賀 金吾馬
瀬田 定
馬場 崎定
坂本 淺一
清水 國次郎
山本 秀之助
國近 逸司
田村 滋太郎
立石 清六
山田 健太郎
鹿子木 伸吾
三木 冬二
多加 喜義郎
小川 國勝
中山 増恵
田坂 保兵衛
川平 義一
宮崎 治三
丹治 孫八郎
扇原 知久
岩城 六兵衛
金子 良輔

海軍豫備一等兵曹
任海軍豫備兵曹長
海軍豫備一等機關兵曹

宇山 金一郎
中村 明三
中川 源一
源氏 清雄
梶東 一雄
林東 信雄
瀧山 只夫
本川 只滿
菊田 只滿
池田 只滿
横堀 貞忠
寺坂 新次

城上 龍藏
淵野 龍藏
矢野 繁藏
神戶 友三
宗近 敷知
鈴木 重晴
鈴木 九郎
家城 八郎
竹島 清英
矢島 清英
加藤 秋藏
池田 秋藏
吉田 鎌造

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

中大竹竹本吉池生高和島山山小藤溝早則杉森福橋西村川
村町内内田野野田本家田山林原白川包野島本川松木
德信茂公太梅喜信義三正吉芳義忠雅正金繁省島本伊英龜
一重義郎一十利助虎壽郎雄助男志清義郎三敦寬八雄一

(各通)

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

今西小近小中清池神中横三松白古長若藤永田國岡石佐山
村川棕藤林村野田谷村道宅井木川木山原山山安田橋藤內
諒三五專梅三忠襄久之助正次忠平智七郎治磨導一治吉繁清
吉郎一郎次作助嚴郎平智七郎治磨導一治吉繁清

五

0654

海軍豫備一等機關兵曹
 高桑 博 吉野 富 村上 實 大田 堂 齋藤 幾太郎 小川 佐兵衛 岡口 豐 山藤 喜 近藤 秀治郎 渡部 時治 井上 治剛 武居 祐一 櫻井 信忠 岡部 信忠 谷口 脩二 犬飼 柳五郎 永津 正久 古賀 關太郎 中川 新市郎 大角 雅之助 伊藤 廉平 野口 啓一郎 毛利 泰夫 中山 伍市

任海軍豫備機關兵曹長

海軍豫備一等機關兵曹
 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

山 下 時 治 郎
 桐 木 善 三 郎
 伊 藤 泰 治
 山 田 源 吾
 荒 木 治 雄
 浦 原 六 次
 河 内 若 三 郎
 竹 本 九 郎
 谷 本 信 次郎

六

海軍公報

第二千七百五十二號

海軍大臣官房

大正十年十二月五日(本月)

○辭令

海軍技手 伊藤 博
文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス

海軍技手 絹川 政一

海軍艦政本部勤務兼造船監督助手ヲ免シ横須賀海軍工廠附ヲ命ス

海軍技手 榑原 玄龍

海軍造兵廠附ヲ免シ吳海軍工廠附ヲ命ス(以上ハ海軍省)

海軍機關少將 池田 岩三郎

海軍學生銓衡委員ヲ命ス

海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス

恩賜研學資金受賞者銓衡委員ヲ命ス(計海軍省)

(各通)

海軍技師 紺村 新太郎
海軍技手 大川 賜三

第五部勤務ヲ命ス(計海軍艦政本部)

海軍造機少佐 松田 竹太郎

兼總務部第二課勤務ヲ命ス(計海軍艦政本部)

(各通)

第一課勤務ヲ命ス(計海軍省經理局)

收入官吏ヲ免ス 海軍主計少佐 江 副 巽

收入官吏ヲ命ス(以上ハ海軍省經理局委任仕拂命令官)
海軍主計少佐 江 副 巽

臨時通常物品會計官吏ヲ免ス 海軍主計少佐 草谷 俊雄

臨時通常物品會計官吏ヲ命ス(以上ハ海軍省經理局通常物品出納命令官)
海軍主計少佐 草谷 俊雄

通常物品會計官吏ヲ免ス 海軍主計少佐 河 勉三

通常物品會計官吏ヲ命ス(以上ハ海軍省經理局通常物品出納命令官)

○艦船所在

▲印ハハカレテ
指定ヲ要セス

○十二月五日午前十時號

海軍公報 第二千七百五十一號 大正十年十二月五日

一〇四五

0656

〔横須賀〕 口長門△、金剛、山城、榛名△、生駒、朝日、三笠、富士、鳳翔、若宮、磐手、北上△、阿蘇、津輕、橋立、滿州、武藏、千早、巨澤風、沖風△、霧風、矢風、巨沙風、夕風、巨秋風、離風、羽風、島風、巨夕立、白露、夕暮、三日月、巨春風、初春、初雪、巨神風△、響、如月、吹雪△、初霜△、有明△、巨追風△、疾風△、彌生△、浦風、夕風△、時雨、薄雲、不知火、巨潜九、潜八、巨潜一五、潜一四、巨潜二六、潜二五、潜二七、潜二八、潜二九、潜三八、潜三九、潜四〇、潜四一、巨雄、白鷹、鴻、鷗、松江、高崎

〔浦賀〕 五十鈴、菱

〔宮古〕 巨纏

〔吳〕 伊勢、多摩、球磨、巨天龍、巨韓崎、矢矧、扶桑、橋津、鞍馬、伊吹、淺間、日進、平戸、駒橋、千代田、周防、千歳、大和、巨綾波、磯波、浦波、巨谷風、江風、葵、菊、巨萩、薄、藤△、葛、村雨、朝霧、白雲、朝潮、陽炎、巨潜一一、潜一〇、潜一一、巨潜一三、潜一六、潜一七、巨潜二三、潜二〇、潜一九、巨潜二四、潜三一、潜三四、潜三五、潜三六、潜三七、潜四四、水六七、水六八、水七〇、水七一、龍登呂△、野島△、膠州、野間

〔大〕 阪、鶴見

〔神〕 加賀、潜三〇、潜三一、潜三二、潜三三、潜四六

〔徳山〕 劍崎、知床

〔佐世保〕 霧島、比叡、日向△、長良、龍田△、敷島、肥前、常磐△、須磨、見島、沖島、最上、巨橋、櫻、榊、桐、巨楠、桂、梅、楓、巨櫻、檜、桃、柳、巨竹△、榎△、梨△、樅△、巨栗、柿、梅、楡、巨松風、白雲、野分、覆葦、巨潜二一、潜一八、巨潜四二、潜四三、潜四五、巨鷲、鷗、雲雀、鶴、蒼鷹、鶴、燕、勞山

〔枋〕 利根

〔新舞鶴〕 巨安藝、薩摩△、木曾△、大井△、鹿島、香取、吾妻△、春日、筑摩、勝力△、新高、對馬△、巨若葉、湖、朝風、子日、巨海風、山風、檜、櫻、巨時津風、磯風、天津風、濱風、太刀風△、帆風、野風、巨水七三、水七二、水七四、水七五、大泊

〔旅順〕 巨柏、榊、杉、松

〔南洋群島〕 巨長月△、水無月△、菊月△、卯月△

〔浦〕 石見

〔上〕 關東

〔淡〕 巨明石

〔長〕 壱岐、宇治

〔宜〕 隅田

〔重〕 伏見

〔重〕 鳥羽

〔重〕 出雲、八雲

0657

【航海中】

松山丸(十一月二十四日「トラック」發内地へ)
椿、楨、桑(十一月三十日大湊發)
筑前丸(一日「トラック」發内地へ)
櫻裳(一日「タラカン」發)
洲崎(二日「タラカン」發吳へ)
陸奥(三日佐世保發橫須賀へ)
青島(四日舞鶴發佐世保へ)
室戸(四日吳發徳山へ)
佐多(四日新嘉坡發徳山へ)

○雜款

○潜水艦進水
神戸三菱造船所ニ於テ建造ノ第四十六潜水艦本月三日午前十時進水セリ

○司令驅逐艦變更
第二十五驅逐隊司令ハ本月五日司令驅逐艦ヲ樞ヨリ竹ニ變更セリ

○司令潜水艦變更
第十四潜水隊司令ハ本月一日司令潜水艦ヲ第二十潜水艦ヨリ第二十三潜水艦ニ變更セリ

○第十二驅逐隊(綾波、磯波、浦波)行動像定
十二月五日吳發同八日旅順著ノ豫定

○郵便物發送先

第二戰隊司令部宛

自今

横須賀、金剛

第十三潜水隊(第十三、第十六、第十七潜水艦)宛
自今 吳防備隊内

特務艦室戸宛

十二月八日迄到着見込ノモノハ
同 十三日迄 同 徳山
同 三十日迄 同 佐世保
一月 七日迄 同 馬公
同 十四日迄 同 高雄
同 二十日迄 同 佐世保
其ノ後ハ 同 新舞鶴

海軍公報

第二千七百五十二號

海軍大臣官房

大正十年十二月六日

○辭令

○大正十年十二月五日

任海軍技手
給五級俸
任海軍技手
給六級俸

村野 善一
伊地知金次郎

休職海軍技手

藤田 準

依願免本官(註海軍省)
舞鶴海軍工廠附ヲ命ス
海軍造兵廠附ヲ命ス
海軍巡查ヲ命ス
月俸五拾九圓ヲ給ス
海軍巡查ヲ命ス
月俸五拾六圓ヲ給ス
海軍巡查ヲ命ス
月俸五拾圓ヲ給ス

海軍技手
同
警視廳巡查
同
同
同

村野 善一
伊地知金次郎
池田 肇次郎
田畑 徳松
藤田 誠

海軍巡查
池田 肇次郎
田畑 徳松

(各通)

臨時南洋群島防備隊附ヲ命ス
同
藤田 誠

海軍機關大佐
新田 義雄

購買名簿調査委員會委員ヲ免ス
海軍機關少佐
野村 將三

米國駐在中自今加俸五千圓ヲ給ス(註海軍省)
海軍省出仕海軍機關大佐
宮本 雄助

海軍省軍需局ニ於テ服務スヘシ(註海軍大臣)
海軍中佐
相良 達夫

(各通)
海軍主計大佐
野村 義隆

第一部勤務ヲ命ス
海軍中佐
鎮目 靜

第二部勤務ヲ命ス(以上註海軍教育本部)
海軍技手
和田 繁

第三部勤務ヲ命ス
海軍技手
中村 龜一

第一部勤務ヲ命ス(以上註海軍艦政本部)
海軍中佐
太田 文次

第二部勤務ヲ命ス
海軍少佐
横山 馨

第三部勤務兼第一課勤務ヲ命ス(以上註水路部)

海軍公報 第二千七百五十二號 大正十年十二月六日

一〇四九

0659

○艦船所在

指定ヲ要セス

○十二月六日午前十時觀

〔横須賀〕 口長門△、陸奥、金剛、山城、榛名、生駒、朝日、三笠、富士、鳳翔、若宮、磐手、北上△、阿蘇、津輕、橋立、滿州、武蔵、千早、巨澤風、沖風△、櫻風、矢風、巨沙風、夕風、巨秋風、濰風、羽風、島風、巨夕立、白露、夕暮、三日月、巨春風、初春、初雪、巨神風△、響、如月、吹雪△、初霜△、有明△、巨追風△、疾風△、彌生△、浦風、夕風△、時雨、薄雲、不知火、巨潜九、潜八、巨潜一五、潜一四、巨潜二六、潜二五、潜二七、潜二八、潜二九、潜三八、潜三九、潜四〇、潜四一、巨雄、白鷹、鴻、鷗、松江、高崎

〔浦賀〕 五十鈴△

〔宮古〕 巨櫻

〔吳〕 伊勢、多摩、球磨、巨天龍、巨韓崎、矢矧、扶桑、攝津、鞍馬、伊吹、淺間、日進、平戶、駒橋、千代田、周防、千歳、大和、巨谷風、江風、葵、菊、巨萩、巨藤、巨萬、巨村雨、朝霧、白雲、朝潮、陽炎、巨潜十一、潜一〇、潜一二、巨潜一三、潜一六、潜一七、巨潜一八、潜一九、巨潜二〇、潜二一、潜二二、潜二三、潜二四、潜二五、潜二六、潜二七、潜二八、潜二九、潜三〇、潜三一、潜三二、潜三三、潜三四、潜三五、潜三六、潜三七、潜三九、潜四〇、水六八、水七〇、水七一、龍登呂△、野島△

〔大〕 巨阪 隊、鶴見

〔神〕 巨戸 加賀、潜三〇、潜三一、潜三二、潜三三、潜四六

〔德〕 巨山 劍崎、知床、室戸

〔佐〕 巨保 霧島、比叡、日向△、長良、龍田△、敷島、肥前、常磐△、須磨、見島、沖島、最上、巨橋、櫻、櫻、桐、巨楠△、桂△、梅△、楓△、巨櫻、檜、桃、柳、巨竹△、榎△、梨△、樅△、巨栗、梅、檜、巨松風、白雪、野分、叢、萃、巨潜二一、潜二八、巨潜四二、潜四三、潜四五、巨鷲、鶉、雲雀、鵲、雁、蒼鷹、鶴、燕、勞山

〔枋〕 巨利根

〔新〕 巨舞鶴 巨安藝、龍摩△、木曾△、大井△、鹿島、香取、吾妻△、春日、筑摩、勝力△、新高、對馬△、巨若葉、湖、朝風、子日、巨海風、山風、檜、櫻、巨時津風、磯風、天津風、濱風、太刀風△、帆風、野風、巨水七三、水七二、水七四、水七五、大泊

〔鎮〕 巨海 巨柏、巨杉、巨松

〔旅〕 巨順 巨長月△、水無月△、菊月△、卯月△

〔南洋群島〕 巨泥、泰安丸

〔浦〕 巨鹽 石見

〔上〕 巨港 關東

〔漢〕 巨口 巨明石

〔長〕 巨沙 巨磯、宇治、巨田

0660

昌 伏見
重 鳥羽
シヤーンズ
ト出雲、八雲

航海中

椿、横、菜(十一月三十日大湊發)
筑前丸(一日「トラツク」發内地へ)
榎袋(一日「タラカン」發)
洲崎(二日「タラカン」發吳へ)
青島(四日舞鶴發佐世保へ)
佐多(四日新嘉坡發德山へ)
伊勢波、磯波、浦波(五日吳發旅順へ)

○雜款

○郵便物發送先
驅逐艦太刀風宛
本日以後 横須賀
特務艦野間宛
十二月二十九日迄到著見込ノモノハ 德山
其ノ後ハ 吳

特務艦野間宛

十二月十一日迄到著見込ノモノハ 吳
同 十五日迄 同 神戶
同 二十日迄 同 横須賀
同 二十六日迄 同 吳
同 三十日迄 同 長崎
其ノ後ハ 佐世保

○行動豫定變更

特務艦野間行動豫定各地發著共一日宛線上ク(十二月三日)
(本欄参照)

○殘務結了

第二水雷戰隊殘務整理本日結了セリ

○電話架設

海軍經理學校長
海軍主計少將 深 水 貞 吉
番町 三二五 府下大久保百人町三一五

○電話架設換

從來芝區新錢座町十一番地海軍大佐藤田尙徳方ニ架設
アリシ芝八一三〇番電話ハ今回左記ニ移轉架設換セリ
芝區櫻川町四番地
海軍省電務局 海軍大佐 高橋 壽太郎
第三課長

海軍公報 第二千七百五十二號 大正十年十二月六日

一〇五一

0661

○閉塞交換局變更(八月十一日 番牒附參照)

本年八月官房第二六五八號ノ三練習艦隊郵便物閉塞交換局「横濱」ヲ「神戸」ニ改ム(海軍省副官)

○改姓

海軍軍醫學生酒井芳男ハ木村ト改姓ノ旨十二月一日届出ヲタリ

(報内附三頁)

0662

海軍公報

第二千七百五十三號

海軍大臣官房

大正十年十二月七日(水)

○令 達

官房第四二三三號

大正二年三月官房第六五二號隨意契約及指名競争實施手續ニ依ル購買名簿中左ノ通改正ス

大正十年十二月七日

臨時海軍大臣事務管理

内閣總理大臣 子爵 高橋 是清

一、地金、鑽石類、第一六及第一七「合名會社古河鑛業會社」ヲ「古川鑛業株式會社」ニ改ム

二、電氣機械、器具、材料類、第二五、日本電線製造株式會社ノ住所ヲ「兵庫縣尼崎市大洲村」ニ改メ第

九、第一三及第四三、「大阪電燈株式會社、大阪市北區中ノ島」ヲ削ル

七、石炭、コークス類、第六「合名會社古川鑛業會社」ヲ「古川鑛業株式會社」ニ、第一四、「宗像商會」ヲ「株式會社宗像商會」ニ改ム

海軍公報 第二千七百五十三號

大正十年十二月七日

大正十年十二月七日

一〇五三

一七、雜品類、第五「帝國鑛泉株式會社、東京市日本橋區小網町四」ヲ「日本麥酒鑛泉株式會社、東京市京橋區銀座一ノ九」ニ改ム

○辭 令

海軍機關中佐 伊地知 四郎

兼第二課勤務ヲ免ス

第二課勤務ヲ命ス 海軍機關中佐 角田 常治郎

第三課勤務ヲ命ス 海軍機關少佐 渡邊 陸一

第二課勤務ヲ命ス 海軍機關大尉 稻石 正雄

第三課勤務ヲ命ス 海軍造船大佐 新庄 季九郎

第三課勤務ヲ命ス 海軍造兵大佐 芥川 榮孝

第三課勤務ヲ命ス(以上註海軍省軍需局) 海軍屬 淺田 榮一郎

○艦 船 所 在

▲印ハハカフ 指定ヲ要セス

○十二月七日上午十時調

機須賀、口長門、鵜鼻、金剛、山姥、榛名、生駒、

0663

<p>朝日、三笠、富士、鳳翔、若宮、磐手、北上、阿留、津輕、橋立、滿州、實康、千早、巨澤風、沖風、霧風、矢風、巨沙風、夕風、巨秋風、灘風、羽風、島風、巨夕立、白露、夕暮、三日月、巨春風、初春、初雪、巨初霜、神風、響、如月、吹雪、有明、巨追風、疾風、彌生、浦風、夕風、時雨、薄雲、不効典、巨潜九、潜八、巨潜一五、潜一四、巨潜二六、潜二五、潜二七、潜二八、潜二九、潜三八、潜三九、潜四〇、潜四一、巨雄、白鷹、鴻、鴨、松江、高崎</p>	<p>横濱 尻矢、松山丸 浦賀 五十鈴、菱</p>	<p>大湊 巨柳、椿、桐、菜</p>	<p>吳 伊勢、多摩、球磨、巨天龍、巨韓崎、矢矧、扶桑、攝津、鞍馬、伊吹、淺間、日進、平戶、駒橋、千代田、周防、千歲、大和、巨谷風、江風、葵、菊、巨秋、薄、藤、橘、村雨、朝霧、白雲、朝潮、陽炎、巨潜一、潜一〇、潜二、潜三、潜一三、潜一六、潜一七、潜一八、潜二〇、潜一九、巨潜二四、潜二二、潜三四、潜三五、潜三六、潜三七、潜四四、水六七、水六八、水七〇、水七一、龍登呂、野島、</p>	<p>膠州、野間</p>	<p>大板 鹿、鶴見</p>	<p>神戶 加賀、潜三〇、潜三一、潜三二、潜三三、潜四六</p>	<p>徳山 知床、室戸</p>						
<p>佐世保 霧島、比叡、日向、長真、龍田、敷島、肥前、常磐、須磨、見島、沖島、最上、巨橋、櫻、樺、柳、巨楠、桂、梅、楓、巨樫、楡、桃、柳、巨竹、樺、梨、巨椈、巨栗、柳、梅、楡、巨松風、白雪、野分、霞、草、巨潜二一、潜一八、巨潜四二、潜四三、潜四五、巨鷲、鶴、雲雀、雁、蒼鷹、鶴、燕、勢山</p>	<p>枋 利根</p>	<p>新舞鶴 巨安藝、薩摩、木曾、大井、鹿島、香取、吾妻、春日、筑摩、勝力、新高、對馬、巨若葉、潮、朝風、子日、巨海風、山風、楡、榎、巨時津風、磯風、天津風、濱風、帆風、野風、巨水七三、水七二、水七四、水七五、大泊</p>	<p>鎮海 巨柏、柳、杉、松</p>	<p>南洋群島 淀、泰安丸</p>	<p>浦鹽 石見</p>	<p>上海 關東</p>	<p>瀧口 明石</p>	<p>長沙 磯崎、宇治</p>	<p>宜昌 隅田</p>	<p>重慶 伏見</p>	<p>シヤーンズ 鳥羽</p>	<p>航海中 出雲、八雲</p>	<p>筑前丸(一日「トラック」發内地へ)</p>

0664

撥發(一日「タラカン」發)
 洲塔(二日「タラカン」發吳へ)
 青島(四日舞鶴發佐世保へ)
 佐多(四日新嘉坡發徳山へ)
 長波、磯波、浦波(五日吳發旅順へ)
 太刀風(六日舞鶴發大阪へ)
 長月、水無月、菊月、卯月(六日旅順發吳へ)
 劍崎(六日徳山發舞鶴へ)

○雜款

○司令驅逐艦變更
 第八驅逐隊司令ハ本月六日司令驅逐艦ヲ神風ヨリ初霜
 ニ變更セリ

○南洋交通船泰安丸第五回輸送日割
 一、行先地 南洋西廻
 二、入港日時 十二月十七日ノ豫定
 三、出港日時 十二月下旬
 四、輸送請求締切 十二月十四日午後四時
 五、物件搭載締切 出港時刻ノ二時間前
 六、便乗者乗船時刻 出港時刻ノ二時間前マテニ港務
 部ニ集合ノ上乘船セシム
 備考 一、本船ハ建築材料輸送専用ニ付郵便物及要
 急不得止モノノ外應シ難シ

二、出港時刻ハ決定次第通知ス
 横須賀海軍港務部

後備役海軍中將正四位勳三等功三級野元綱明本月
 七日卒去、來ル九日午後一時ヨリ三時迄ノ間府下
 大森不入斗一四九二番地自宅ニ於テ神式ニ依リ告
 別式ヲ施行ス

0665

海軍公報

第二千七百五十四號

海軍大臣官房

大正十年十二月八日(木)

○令達

官房第四一四〇號

海兵團ニ於テ割烹術教育ニ要スル材料品ハ左記範圍内ニテ購買シ調理材料ニ充ツヘシ

四等主計兵 一名 一日ニ付 金拾五錢

掌厨術練習生 一名 一日ニ付 金參拾錢

附則

明治三十年六月官房第三二五四號ハ之ヲ廢止ス

大正十年十二月八日

臨時海軍大臣事務管理

内閣總理大臣 子爵 高橋 是清

○通牒

海人第七六號

大正十年十二月八日

海軍省人事局長 古川 鈔三郎

各廳長 殿

寫真提出ノ件

海軍准士官以上履歷書及身上取扱規則第十一條ノ二ニ依ル寫真未提出者ハ此際可成速ニ送付候様御示達相成度
右申進ス

○辭令

海軍大學校ニ於ケル支那學生ノ英語學教授囑託
自今報酬ヲ贈與セヌ(註海軍省) 島津 久基

海軍大佐 向田 金一

海軍中佐 鎮目 靜

海軍少佐 宇都宮 小市

海軍大尉 和田 操

海軍造兵少佐 谷村 豊太郎

恩賜研學資金受賞者銓衡委員ヲ命ス(註海軍省)

海軍機關中佐 本多 敬太郎

第一課兼第二課勤務ヲ命ス(註海軍省軍務局)

海軍大佐 遠藤 格

第一課勤務ヲ命ス(註海軍省軍務局)

海軍公報 第二千七百五十四號 大正十年十二月八日

一〇五七

0666

海軍主計中尉 鳥居 新一
軍儀裝員ニ要スル經費仕拂ノ爲メ臨時現金前渡官吏
ヲ命ス(十一月)海軍省經理局委任仕拂命令官)

海軍主計大尉 松下 嘉作
舞鶴海軍經理部課員
艦隊所屬艦船經費分任出納官吏ヲ免ス

舞鶴海軍經理部課員
海軍主計少佐 草刈 哲治
艦隊所屬艦船經費分任出納官吏ヲ命ス(以上十一月海軍
省經理局委任仕拂命令官)

海軍主計少佐 熊生 榮
海軍艦政本部製圖工場所屬物品及監督諸費所屬物品
會計官吏ヲ免ス

海軍主計少佐 林 貞雄
海軍艦政本部製圖工場所屬物品及監督諸費所屬物品
會計官吏ヲ命ス(以上十一月海軍艦政本部通常物品出納
命令官)

海軍技手 伊地知金次郎
検査官附ヲ命ス(十一月海軍造兵廠)

○艦船所在

△印△ハ△ホ△フ
指定ヲ要セス

○十二月八日午前十時観

【横須賀】 口長門△、陸奥△、金剛△、山城△、榛名△、生駒△、
朝日△、三笠△、富士△、鳳翔△、若宮△、磐手△、北上△、阿蘇△、

津輕△、橋立△、蒲州△、武藏△、千早△、巨澤風△、沖風△、
巖風△、矢風△、巨沙風△、夕風△、巨秋風△、藤風△、羽風△、
島風△、巨夕立△、白露△、夕暮△、三日月△、巨春風△、初春△、
初雪△、巨初霜△、神風△、櫻△、如月△、吹雪△、宵明△、
巨追風△、疾風△、彌生△、浦風△、夕風△、時雨△、滯雲△、
不知火△、巨潜九△、巨潜八△、巨潜一五△、巨潜一四△、巨潜二六△、
巨潜二五△、巨潜二七△、巨潜二八△、巨潜二九△、巨潜三八△、巨潜三九△、
巨潜四〇△、巨潜四一△、巨雄△、白鷺△、鴻△、松江△、高崎△、
横濱△、尻矢△、松山丸△、
浦賀△、五十鈴△、
大湊△、巨樺△、椿△、松△、
吳△、伊勢△、多摩△、球磨△、巨天龍△、巨矢矧△、韓崎△、
扶桑△、橫津△、鞍馬△、伊吹△、淺間△、日進△、平戸△、駒橋△、
千代田△、周防△、千歳△、大和△、巨谷風△、江風△、葵△、菊△、
巨萩△、巨藤△、巨葛△、巨村雨△、朝霧△、白雲△、朝潮△、陽炎△、
巨潜一一△、巨潜一〇△、巨潜一二△、巨潜一三△、巨潜一六△、
巨潜一七△、巨潜二二△、巨潜二〇△、巨潜一九△、巨潜二四△、
巨潜二三△、巨潜三四△、巨潜三五△、巨潜三六△、巨潜三七△、巨潜四四△、
巨潜四七△、巨潜四八△、巨潜七〇△、巨潜七一△、龍登島△、野島△、
膠州△、
大 阪 太刀風△、巖△、鶴見△、
神 戶 加賀△、巨潜三〇△、巨潜三一△、巨潜三二△、巨潜三三△、
巨潜四六△、
德 山 知床△、室戸△、
佐世保△、霧島△、比叡△、日向△、長良△、龍田△、

0667

敷島、肥前、常磐、須磨、見島、沖島、最上、口橋、櫻、樺、桐、口楠、桂、梅、楓、口榎、檜、桃、柳、口竹、榎、梨、櫻、口栗、柿、梅、檜、口松風、白雪、野分、葎、葎、口潜二、潜一八、口潜四二、潜四三、潜四五、口鷺、鴉、雲雀、鶴、雁、蒼鷹、鶇、燕、青島

【枋 蔡】 利根

【新舞鶴】 口安藝、薩摩、口木曾、大井、鹿島、香取、吾妻、春日、筑摩、勝力、新高、對馬、口若葉、潮、朝風、子日、口海風、山風、檜、櫻、口時津風、磯風、天津風、瀨風、帆風、野風、口水七三、水七二、水七四、水七五、大泊

【鎮 海】 口柏、榎、杉、松

【旅 順】 口綾波、磯波、浦波、泥、泰安丸

【南洋群島】

口石見

口關東

口明石

口榎、宇治

口沙 岡田

口昌 伏見

口重 鳥羽

口シヤーンズ 口出雲、八雲

【航海中】

筑前丸(一日「トラツク」發内地へ)

鐵袋(一日「タラカン」發)

洲崎(二日「タラカン」發吳へ)

佐多(四日新嘉坡發德山へ)

口長月、水無月、菊月、卯月(六日旅順發吳へ)

劍崎(六日德山發舞鶴へ)

野間(七日吳發德山へ)

勞山(七日佐世保發吳へ)

○ 雜 款

○ 旗艦變更

第一潜水戰隊司令官ハ本月一日旗艦ヲ韓崎ヨリ矢矧ニ變更セリ

○ 司令潜水艦指定

第四潜水隊司令ハ本月三日司令潜水艦ヲ第二十八潜水艦ニ指定セリ

○ 著任、退廳

新任海軍教育本部第一部長松村海軍少將十二月三日、新任海軍教育本部第三部長池田海軍機關少將十二月三日、新任海軍教育本部第二部長大石海軍少將十二月五日、前任海軍教育本部第三部長金子海軍機關

0668

少將十二月三日、前任海軍教育本部第一部長下村海軍
中將十二月五日、前任海軍教育本部第二部長百武海軍
中將十二月六日何レ退廳(教育本部)

○郵便物發送先

軍艦春日宛

十二月十日迄到著見込ノモノハ 新舞鶴

同 十三日迄 同 鎮海

同 二十五日迄 同 元山

其ノ後ハ 鎮海

第十三驅逐隊(長月、水無月、菊月、卯月)宛

本日以後 吳

特務艦大泊宛

十二月十日迄到著見込ノモノハ 新舞鶴

其ノ後ハ 小樽

○軍艦春日行動豫定

地名 著 十二月十日 發

舞鶴 十二月十二日 十四日

鎮海 十二月十六日 十七日

雄基 十二月十七日 十八日

清津 十二月十九日 二十日

城津 十二月十九日 二十日

端川 十二月二十日 二十一日

西湖津 二十一日
元山 二十三日
鎮海 二十七日
二十三日
二十五日

○特務艦野間行動豫定變更(十二月十日)

地名 著 十二月七日 發

吳山 十二月八日 九日

德山 十二月十日 十一日

吳山 十二月十日 十一日

タラカン 十二月二十七日 三十日

德山 一月十日 十一日

○南洋交通船松山丸行動豫定

地名 著 十二月十一日 發

横濱 十二月十一日 十五日

横須賀 十二月十八日 十九日

門司 十二月二十二日 二十三日

二見 十二月二十六日 三十一日

サイパン 十二月三十一日 一月六日

ロケット 一月三日 六日

トラック 一月八日 十日

ボナペ 一月十二日 十五日

クサノ 一月十四日 十七日

マルト 一月十六日 十七日

ウオツジ 一月十六日 十七日

ヤルト	十八日	十九日
クサイ	二十一日	二十一日
ボナベ	二十三日	二十四日
トラック	二十六日	二十九日
サイパン	二月一日	二月二日
横見	五日	五日
濱	八日	

○東京武官電話

霞ヶ關東宮假御所内東宮武官室電話左ノ通

銀座 三六五三番 武官室 連接

銀座 二四三四番 武官屬室 連接

○事務所設置

第四十五潜水艦艇裝員事務所ヲ佐世保海軍工廠内ニ設置シ十二月三日ヨリ事務ヲ開始セリ(第四十五潜水艦艇裝員長)

驅逐艦艇裝員事務所ヲ東京石川島造船所内ニ設置シ十一月二十八日ヨリ事務ヲ開始セリ(艇裝員長)

特務艦神威艇裝員假事務所ヲ海軍艦政本部内ニ設置シ本月八日ヨリ事務ヲ開始ス

○滞在地變更

海軍軍醫大尉林良齊ハ横須賀ヨリ東京へ滞在地變更ノ儀十二月七日認許セラレタリ

○正誤

十二月七日令達欄「古川。鑛業株式會社」ハ「古河。鑛業株式會社」ノ誤

海軍公報 第二千七百五十四號 大正十年十二月八日

(部内限二頁)

二〇六一(六三) 第六

0670

海軍公報

第二千七百五十六號

海軍大臣官房

大正十年十二月十日(土)

○通牒

兵學第三〇〇號

大正十年十二月八日

海軍兵學校

各艦團隊御中

一、大正十年航海年表

一、同 湖沙表

右本校生徒教授用トシテ御寄贈ヲ得度
右依頼ス

○辭令

海軍大佐	成澤 美水
海軍機關少將	田中 龍男
同	柳澤 祐冬
海軍機關大佐	横田 春
海軍機關大佐	黒田 良定

(各通)

海軍機關大佐	村木 盛男
同	伊藤 信作
同	關口 精一
同	佐本 乙勝
同	平井 三郎
海軍軍醫大佐	香田 安藏
同	山口 謙三郎
同	上村 淺次郎
同	相原 文四郎
海軍主計少將	德永 晃
同	黒田 義俊
海軍主計大佐	原田 義太
同	山本 英忠
海軍軍醫少將	栗田 俊三
海軍軍醫少將	倉本 邦文
海軍主計大佐	武内 梅吉
海軍軍醫中佐	長井 運男
海軍軍醫中佐	長井 運男

滞在地ヲ東京ニ指定ス

滞在地ヲ横須賀ニ指定ス

(各通)

滞在地ヲ吳ニ指定ス

滞在地ヲ舞鶴ニ指定ス(以上註海軍大臣)

海軍公報 第二千七百五十六號 大正十年十二月十日

一〇六七

0671

海軍機關大佐 宮本 雄助
 第二課勤務ヲ命ス(駐海軍省軍需局)
 海軍技手 岡村 尚三郎
 (各通) 同 中村 一三
 第二部勤務ヲ命ス(駐海軍建築本部)

○艦船所在

指定ヲ要セス

○十二月十日午前十時觀

〔廣〕須賀 口長門、陸奥、金剛、山城、榛名、生駒、朝日、三笠、富士、鳳翔、若宮、磐手、北上、阿蘇、津輕、橋立、滿州、武蔵、千早、江澤風、沖風、響風、矢風、口沙風、夕風、口秋風、濤風、羽風、島風、口夕立、白露、夕暮、三日月、口春風、初春、初雪、口初霜、神風、響、如月、吹雪、有明、口追風、疾風、彌生、浦風、夕風、時雨、霧雲、不知火、口潛九、潛八、口潛一五、潛一四、口潛二六、潛二五、潛二七、口潛二八、潛二九、潛三八、潛三九、潛四〇、潛四一、口雄、白鷹、鷗、鷗、松江

〔浦〕 尻矢、松山丸
 〔賀〕 五十鈴、菱、逆
 〔大〕 吳、伊勢、多摩、珠磨、口天龍、口矢矧、神橋、扶桑、彌津、鞍馬、伊吹、淺間、日進、平月、駒橋

千代田、周防、千歲、大和、口長月、水鏡月、菊月、卯月、口谷風、江風、葵、菊、口藤、萩、藤、葛、村雨、朝霧、白雲、朝潮、陽炎、口潛一〇、口潛一二、口潛一三、口潛一六、口潛一七、口潛二〇、口潛二一、口潛一九、口潛二四、口潛二二、口潛三四、口潛三五、口潛三六、口潛三七、口潛四四、水六七、水六八、水七〇、水七一、龍登呂、野島、膠州、勞山

〔大〕 阪 廠、鷗見
 〔神〕 戶 剌賀、潛三〇、潛三一、潛三二、潛三三、潛四六
 〔門〕 司 室戶
 〔佐〕 世保 霧島、比叡、日向、長良、龍田、敷島、肥前、常磐、須磨、見島、沖島、最上、口橋、櫻、樟、桐、口楠、桂、梅、榎、口榎、榎、桃、柳、口竹、榎、梨、榎、口柿、栗、梅、榎、口松風、白雲、野分、霞、草、口潛二二、潛二八、口潛四二、潛四三、潛四五、口鷗、鷗、雲雀、鷗、蒼鷹、鷗、燕

〔高〕 雄 利根
 〔新〕 舞鶴 口安藝、薩摩、口木曾、大井、鹿島、香取、吾妻、春日、筑摩、勝力、新高、對馬、口若菜、潮、朝風、子日、口海風、山風、檜、榎、口時津風、磯風、天津風、濱風、帆風、野風、口水七三、水七二、水七四、水七五、大泊

〔鐵〕 海 口柏、榎、杉、松、青島

0672

旅順 長波、磯波、浦波
 南洋群島 淀、泰安丸
 浦鹽 石見
 港關東
 上海 明石
 漢口 船越
 長沙 兩田
 宜昌 伏見
 重慶 鳥羽
 シヤーンヌ 出雲、八雲

航海中

筑前丸(一日「トラツク」發内地へ)
 樽裳(一日「タラカン」發)
 洲崎(二日「タラカン」發吳へ)
 佐多(四日新嘉坡發德山へ)
 劍崎(六日德山發舞鶴へ)
 宇治(八日漢口發南京へ)
 太刀風(九日大阪發鳥羽へ)
 野間(九日德山發吳へ)
 知床(九日德山發佐世保へ)

○雜款

○監督官更迭(十二月六日)
 駐在地 舊監督官 新監督官
 神戸 田中機關少將 秋元機關大佐
 (海軍艦政本部)

○事務所設置
 驅逐艦野風艦裝員事務所ヲ舞鶴海軍工廠内ニ設置シ本月八日ヨリ事務ヲ開始セリ(野風艦裝員長)

第三十六潜水艦裝員事務所ヲ吳海軍工廠建造潜水艦裝員事務所内ニ設ケ本月六日ヨリ事務ヲ開始セリ(第三十六潜水艦裝員長)

○南洋交通船松山丸第九十一回輸送日割中左記ノ通り決定ス(十一月十八日本欄参照)

入港日 十二月十三日午前
 出港日 十二月十七日午後四時
 横須賀海軍港務部

○正誤
 海軍士官名簿一四八頁海軍大尉倉員仁一郎ノ頭部・ハ行
 十二月七日辭令欄中海軍屬淺田榮一郎ノ命課「勤務」ハ「附」ノ誤

0673

○神戸「ベスト」有菌鼠發見報(十二月九日 内務省衛生局)

十二月六日捕鼠隊ニ依リ神戸市辨天濱塵芥搬出所塵芥中ニ於テ有菌鼠一發見

累計 兵庫縣下(患者二名(内一名ハ九日發見) 有菌鼠十二頭)

海軍技手木原四郎ハ本月六日死去セリ

(部内限二頁)

0674

海軍公報

第二千七百五十七號

海軍大臣官房

大正十年十二月十二日

○令達

官房第四一六五號

來ル十五日賢所御神樂被爲行候ニ付親任官一同竝勅任官總代ハ同日午後四時三十分賢所參集所へ參集スヘシ

大正十年十二月十二日

臨時海軍大臣事務管理

内閣總理大臣子爵 高橋 是清

○通牒

官房第四一六六號

大正十年十二月十二日

海軍次官 井出 謙治

各所屬長官殿

特別善行章行狀ニ關スル件

特別善行章行狀陸級理由書寫東宮武官長宛送附ノ件ニ

關シ今般別紙ノ通東宮武官長ヨリ申越候ニ付アハ明年一月以後ハ右理由書送附方御見合セ相成度右通知ス

(附例則 卷一、一三三七頁 參照)

(別紙)

東武第二一二號

大正十年十二月一日

東宮武官長 奈良 武次

海軍次官 井出謙治殿

特別善行章陸級理由書寫ニ關スル件

皇太子殿下御前ニ奉呈ノ爲メ海軍下士官兵善行章陸級理由書寫貴部各所管長官ヨリ直接本職宛送附ノ件ニ關シ大正八年東武第一一七號ヲ以テ申進ノ處今後陸級理由ハ貴部内公報ニ依リ言上可致ニ付明年一月以後ハ理由書寫送附方見合ス様御取計相成度右申進ス

○艦船所在

▲印ハハホケ
指定ヲ要セス

海軍公報 第二千七百五十七號 大正十年十二月十二日

一〇七一

0675

〇十二月十二日午前十時發

【橫須賀】 口長門、佛奧、金剛、山城、榛名、生駒、朝日、三笠、富士、鳳翔、若宮、磐手、北上、阿蘇、津輕、樺立、滿州、武藏、千早、口澤風、沖風、霧島、矢風、口沙風、夕風、口秋風、灘風、羽風、島風、口夕立、白鷺、夕暮、三日月、口春風、初春、初雪、口初霜、神風、響、如月、吹雪、有明、口追風、疾風、彌生、浦風、夕風、時雨、濃雲、不知火、口港九、港八、口港一五、港一四、口港二六、港二五、港二七、口港二八、港二九、港三八、港三九、港四〇、港四一、口維、白鷺、鴻、鷗、松江

【浦賀】 五十鈴、夢、蓮

【大湊】 口櫻、椿、桐、桑、高崎

【大井】 伊勢、多摩、球磨、口天龍、口矢矧、韓崎、扶桑、攝津、鞍馬、伊吹、淺間、日進、平戶、駒橋、千代田、周防、千歲、大和、口長月、水無月、菊月、卯月、口菊、谷風、江風、葵、口藤、萩、薄、葛、村雨、朝霧、白雲、朝潮、陽炎、口港一一、港一〇、港一二、口港一三、港一六、口港一七、口港二三、港二〇、港一九、口港二四、港二二、港三四、港三五、港三六、港三七、港四四、水六七、水六八、水七〇、水七一、龍卷、野島、野間、膠州、勞山

【大坂】 廣、鶴見

【神戶】 加賀、港三〇、港三一、港三二、港三三、港四六

【佐世保】 霧島、比叡、日向、長良、龍田、敷島、肥前、常磐、須磨、見島、沖島、最上、口檜、檜、樺、桐、口楠、桂、梅、楓、口榎、槍、桃、柳、口竹、桐、梨、櫻、口柿、栗、梅、櫻、口松風、白雪、野分、葎、葎、口港二一、港一八、口港四二、港四三、港四五、口鷲、鷲、雲雀、鴈、蒼鷹、鷓、燕、室戶

【新舞鶴】 口安藝、薩摩、口木曾、大井、鹿島、香取、吾妻、筑摩、勝利、新高、對馬、口若葉、潮、朝風、子日、口海風、山風、檜、榎、口時津風、磯風、天津風、濱風、帆風、野風、口水七三、水七二、水七四、水七五、劍崎

【海軍】 口柏、榎、杉、松

【旅順】 口駿波、磯波、浦波

【南洋群島】 泥、泰安丸

【浦賀】 口石見

【大井】 關東

【上海】 關東

【淡路】 關東

【長門】 關東

【宜野】 關東

【重慶】 關東

【シヤース】 關東

【出雲】 八雲

0676

航海中

筑前丸(一日「トラツク」發内地へ)
 撥雲(一日「タラカン」發)
 洲崎(二日「タラカン」發吳へ)
 佐多(四日新嘉坡發徳山へ)
 宇治(八日漢口發南京へ)
 太刀風(九日大阪發鳥羽へ)
 知床(九日徳山發佐世保へ)
 春日(十日舞鶴發鎮海へ)
 大泊(十日舞鶴發小樽へ)
 利根(十一日高雄發馬公へ)
 青島(十一日鎮海發旅順へ)

○雜款

○總代
 來ル十五日賢所御神樂被爲行候節總代トシテ參列スヘ
 キ旨左記へ通達セラレタリ
 勅任官總代 海軍少將 齋藤七五郎

○司令驅逐艦變更
 第十四驅逐隊司令ハ本月十日司令驅逐艦ヲ谷風ヨリ菊
 ニ變更セリ

○郵便物發送先

第二十一驅逐隊(橘、櫻、樺、桐)宛
 本日以後 馬公

特務艦野間宛

十二月十七日迄到著見込ノモノハ
 一月十日迄 同 吳 徳 山
 其ノ後ハ 吳

特務艦知床宛

本日以後 佐世保

第二潜水隊(第十五、第十四潜水艦)宛

本日以後 横須賀防備隊氣付

○南洋交通船山丸行動豫定中變更(十一月八日)

地名	著	發
横濱		十二月十三日
横須賀		十二月十七日
門司		二十日
二見		二十四日
ナイバン		二十八日
○赴任		

波蘭國駐在仰付ラレタル海軍大尉前田稔ハ來二十三日

0677

第百七十五號 大正十年十二月十二日

横濱出港ノ吉野丸ニテ赴任ノ豫定

○副官官舎居住者交替

野村海軍省副官ハ去月二十七日官舎退去 左記ニ移轉、
今村海軍省副官代理ハ本月四日左記官舎ニ居住セリ

電話番町二二四番 海軍省副官 野村吉三郎

電話銀座 五二七番 海軍省副官代理 今村信次郎

○神戸「ベスト」有菌鼠發見報(十二月十日)

番號	發見月日	決定月日	發見方法	發見場所	頭數
一三	十二月十二日	同	除鼠の消毒方法施行ノ際	高濱倉庫 D七屋内	二
一四	十二月十八日	同	同	高濱倉庫 第八號倉庫内	二
一五	同	同	同	同 右	一
一七	同	同	同	同 右	一
一八	同	同	同	高濱倉庫 第一五號	一
一九	同	同	同	同 第七〇號	一

累計 兵庫縣下 患者 二名
有菌鼠 十九頭

(部内限ナシ)

一〇七四

0678

(参考)

大正九年十二月七日

水交社社員殿

水交社副社長

年賀状ニ關スル件

歳末年始ノ回禮等廢止ノ件ニ關シテハ豫テ明治四十二年官房第
四三二九號海軍次官ヨリ通牒ノ次第モ有之候處自今社員相互間
ノ年賀状ノ交換モ努メテ之ヲ省略スルコトニ御賛同ヲ得度
右申進ス

(參照)

官房第四三二九號

明治四十二年十二月二十五日

各 廳 長 殿

海 軍 次 官

海軍武文官ノ歳末年始ニ於ケル回禮又ハ名刺交換ノ儀ハ自今廢止スルコトニ致度候條此ノ旨御部下
般へ御通達相成度

右依命申進ス

0679

海軍公報

第二千七百五十八號

海軍大臣官房

大正十年十二月十三日(火)

○令 達

官房第四一七〇號

左記ニ依リ横須賀海軍航空隊航空術練習生(氣球搭乗者)ヲ採用ス

右告達ス

大正十年十二月十三日

臨時海軍大臣事務管理
内閣總理大臣 子爵 高橋 是清

- 一、所 管 横須賀鎮守府
- 二、採用人員 八 名
- 三、資 格 進級停年ヲ有スル二等水兵以上ノ者
- 四、入隊時期 大正十一年一月

○辭 令

○十二月十三日午前十時

横須賀 口長門、陸奥、金剛、山城、嶺名、生駒、朝日、三笠、富士、鳳翔、若宮、磐手、北上、阿蘇、津輕、橋立、滿洲、實籙、千早、巨港、沖風、櫻風、矢風、沙風、夕風、太刀風、秋風、藤風、島風、夕立、白鷺、夕暮、三日月、春風、初春、初雪、初霜、神風、響、如月、吹雪、有明、

○艦 船 所 在

ハ印ニハホテ 指定ヲ要セス

海軍機關少佐 木梨 律馬
英國駐在中自今加俸五千四百圓ヲ給ス
海軍機關少佐 永 江 晋
佛蘭駐在中自今加俸五千四百圓ヲ給ス(以上十二月海軍省)

海軍技師 木村 雄一
第五部勤務ヲ命ス(海軍艦政本部)

海軍中佐 河村 重幹
第七部勤務ヲ命ス(海軍艦政本部)

海軍公報 第二千七百五十八號 大正十年十二月十三日

一〇七五

0680

<p>【追風】疾風、彌生、浦風、夕風、時雨、薄雲、不知火、潜九、潜八、潜一五、潜一四、潜二六、潜二五、潜二七、潜二八、潜二九、潜三八、潜三九、潜四〇、潜四一、潜四二、白鷺、鴨、鵜、松江</p>	<p>【浦賀】五十鈴、蓮、五十鈴、蓮、五十鈴、蓮</p>	<p>【大】伊勢、多摩、球磨、天龍、矢矧、韓崎、伊吹、淺間、平戸、駒橋、千代田、扶桑、攝津、鞍馬、伊吹、淺間、平戸、駒橋、千代田、周防、千歳、大和、長月、水無月、菊月、卯月、白雲、朝潮、陽炎、潜一〇、潜一二、潜一三、潜一六、潜一七、潜二二、潜二〇、潜一九、潜二四、潜三一、潜三四、潜三五、潜三六、潜三七、潜四四、水六七、水六八、水七〇、水七一、龍登呂、野島、野間、膠州</p>	<p>【大】飛、鷓見</p>	<p>【神戶】加賀、潜三〇、潜三一、潜三二、潜三三、潜四六</p>	<p>【佐世保】霧島、比叡、日向、長真、龍田、敷島、肥前、常磐、須磨、見島、沖島、最上、橋、櫻、樺、桐、桂、梅、楓、樫、櫻、桃、柳、白雲、野分、霞、葦、潜二一、潜一八、潜四二、潜四三、潜四五、鷲、鶉、雲雀、雁、蒼鷹、鶇、鶇</p>
<p>【馬公】利根、香取、吾妻、筑摩、勝力、新高、對馬、若葉、潮、朝風、子日、海風、山風、檜、櫻、時津風、磯風、天津風、濱風、帆風、野風、水七三、水七二、水七四、水七五</p>	<p>【大連】春日、松柏、檜、杉、松、霞波、磯波、浦波、淀、泰安丸</p>	<p>【浦】石見、關東</p>	<p>【上】明石</p>	<p>【漢口】隔田、沙、伏見、昌、鳥羽、重慶、アール、出雲、八雲</p>	<p>【航海中】洲崎(二日「タラカン」發吳(一) 佐多(四日新嘉坡發德山(一) 宇治(八日漢口發南京(一) 大泊(十日舞鶴發小樽(一)</p>

0681

青島(十一日鎮海發旅順へ)
 日進(十二日吳發舞鶴へ)
 勞山(十二日吳發神戶へ)
 劍崎(十三日舞鶴發徳山へ)

○雜款

○特務艦勞山行動豫定中變更(十月十日)
(本欄参照)

地名	著	發
神戶	十二月十三日	十二月十五日
横須賀	十七日	二十二日
吳	二十四日	二十七日
長崎	二十九日	三十一日
佐世保	三十一日	十二年一月八日

海軍公報 第二千七百五十八號 大正十年十二月十三日(附錄三頁、部内限二頁)一〇七七

0682

海軍公報 附録

大正十年十二月十三日(火)
海軍大臣官房

○ 雜 款

○ 圖書

去ル十一月中納庫セル圖書左ノ如シ(海軍省文庫)

和漢書ノ部

第一門

日本と戦はん乎

米國ワラタリ、ビ、ビトキン原著
陸軍中將佐藤綱次郎譯

三五五

第二門

印刷局五十年略史

印刷局編

大正十

雜六五

戦後の獨逸

葉山英次郎著

大正十

雜六四

民衆娛樂問題

權田保之助著

大正十

雜六一

第三門

東郷元帥詳傳

海軍中將小笠原長生編

大正十

雜六六

得能良介君傳

渡邊盛齋編

大正十

雜六四

第四門

滿蒙紹介

南滿洲鐵道株式會社編

大正十

雜六六

在上海帝國總領事館管内狀況

外務省通商局編

雜六六

第五門

支那官語字典

官島大八編

大正十

三五〇

第六門

世界微毒史

土肥應鑑著

大正十

三五二

洋書ノ部

CLASS I.

Wead, F. W., Lieut., U. S. N. Professional questions and answers for naval officers.

5213

Wisconsin 1920.

Porter, H. E. Aerial observation. N. Y. 1921.

5211

CLASS II.

Hill, D. J. American world policies. N. Y. 1920.

5226

Bryce, James, Viscount. Modern democracies. N. Y. 1921. 2 vol.

5225

Sweetser, Arthur. The league of nations at work. N. Y. 1920.

5222

海軍公報 附録 大正十年十二月十三日

0683

Osborne, Sidney. The Upper Silesian question and Germany's coal problem. London 2nd ed. 1921. 5203	Gayer, U., Korvettenkapitain. Die deutschen U-Boote in ihrer Kriegführung, 1914-18. Berlin 1920. 2 Bde. 1132
Irwin, Will. "The next war". An appeal to common sense. N. Y. 1921. 5210	Scott, Percy, Amiral. De la marine à voiles au sous-marin. Cinqante ans de services dans la marine anglaise. Paris 1921. 986
Ross, E. A. The Russian bolshevik revolution. N. Y. 1921. 5215	Ardoin, Paul, Enseigne de Vaisseau. L'Emden. Ses croisières et sa fin. Paris 1920. 988
White, Benjamin. The currency of the great war. London 1921. 5204	_____ L'escadre allemande du Pacifique. Paris 1920. 987
Kirkaldy, A. W. (ed.) British finance during and after the war, 1914-21. London 1921. 5223	CLASS IV.
Delbrück, Hans. Krieg und Politik, 1914-1918. Berlin 1919. 1126	Chung, Henry. The case of Korea. A collection of evidence on the Japanese domination of Korea, and on the development of the Korean independence movement. N. Y. 1921. 5216
CLASS III.	Glason, George. What shall I think of Japan. N. Y. 1921. 5209
Satow, Ernest. A diplomat in Japan. London 1921. 5218	CLASS VI.
Mirrors of Washington, The. N. Y. 1921. 5213	Einstein, Albert. Relativity. The special and the general theory. A popular exposition. Tr. by R. W. Lawson. London 3rd ed. 1920. 5220
Verner, Rudolf, Comd., R. N. The battle cruisers at the action of the Falkland Island. London 1920. 5224	
Burrow, C. W. Scapa and a camera. Pictorial impressions of five years spent at the Grand Fleet Base. London 1921. 5214	

0684

<p>CLASS VII. Jahrbuch der Schiffbautechnischen Gesellschaft. Berlin 1900-1920. 1127</p> <p>CLASS VIII. Cotten, Arrundel. United States steel. A corporation with a soul. N. Y. 1921. 5227</p> <p>Gibson, Walcott. Coal in Great Britain London 1920. 5217</p> <p>U. S. Department of Commerce. Navigation laws of the United States. Wash. 1920. 5202</p>	
--	--

海軍公報 附錄 大正十年十二月十三日

0685

海軍公報

第二千七百五十九號

海軍大臣官房

大正十年十二月十四日(水)

○令 達

官房第四一八一號

大正十年度歳出科目左ノ通追加ス

大正十年十二月十四日

臨時海軍大臣事務管理

内閣總理大臣子爵 高橋 是清

歳出經常部

款	項	目	節	解 疏	會計科目 電信略號
(軍事費)	(應費及 修繕費)	佐世保鎮守 府鐵道修繕			(テ)

○通 牒

經物第三六二號

大正十年十二月十四日

海軍省經理局長 志 佐 勝

物品會計官吏
建築部長 殿

在露國我帝國官設機關被害調査ノ件

別紙ノ通外務次官代理ヨリ當省次官宛照會有之候ニ付

テハ取調ノ上被害見積調査調製大正十一年一月末日迄

ニ當局宛送付相成度

右照會ス

(別紙)

歐一普通令第一九七七號

大正十年十二月五日

外務次官代理 田 中 都 吉

海軍次官 井出謙治殿

在露國我帝國官設機關被害調査ニ關スル件

露國ニ在リタル貴省所轄官設機關ニシテ同國政變ノ結

果或ハ帝國駐屯軍隊移動又ハ撤退ノ爲メ引揚クルノ止

ムナキニ至リ其ノ官有財貨ヲ遺棄セルモノハ被害見積

海軍公報 第二千七百五十九號

大正十年十二月十四日

一〇七九

0686

調書(被害地、遺棄物品及數量評價等ニ關スル說明ヲ附シ)ヲ作製相成本省歐米局宛可成速ニ御送付相成候様致度此段申進候也

○ 辭令

海軍中佐 福島 貫三
 同 黒羽根 秀雄
 (各通) 海軍機關大佐 山下 魏八郎
 海軍機關中佐 土井 幸梶
 海軍主計少佐 草谷 俊雄
 海軍生徒採用試驗常置委員ヲ命ス(註明海軍省)

○ 艦船所在

△印△ハホフ
指定ヲ要セス

○十二月十四日午前十時觀

〔横須賀〕 口長門△、陸奥、金剛、山城、榛名、生駒、朝日、三笠、富士、鳳翔、若宮、磐手、北上△、阿蘇、津輕、橋立、浦州、武藏、千早、巨霧風、沖風△、霧風、矢風、口沙風、夕風、太刀風、口秋風、灘風、羽風、島風、口夕立、白露、夕暮、三日月、口春風、初春、初雪、口初霜△、神風△、響、如月、吹雪△、有明△、口追風△、疾風△、彌生△、浦風、夕風△、時雨、薄雲、

不知火、口潜九、潜八、口潜一五、潜一四、口潜二六、潜二五、潜二七、口潜二八、潜二九、潜三八、潜三九、潜四〇、潜四一、口雄、白鷹、鴻、岡、松江、松山丸、筑前丸

〔横濱〕 尻矢
 〔浦賀〕 五十鈴、菱、蓮
 〔大湊〕 口櫻、椿、楨、桑、高崎
 〔小樽〕 大泊
 〔吳〕 伊勢、多摩、球磨、口天龍、口矢矧、神崎、扶桑、攝津、鞍馬、伊吹、淺間、平戸、駒橋、千代田、周防、千歳、大和、口長月、水無月、菊月、口菊谷風、江風、葵、口藤、萩、藤、萬、村雨、朝霧、白雲、朝潮、陽炎、卯月、口潜一一、潜一〇、潜一二、口潜一三、潜一六、潜一七、口潜二三、潜二〇、潜一九、口潜二四、潜二二、潜三四、潜三五、潜三六、潜三七、潜四四、水六八、水七〇、水七一、能登呂△、野島△、野間、膠州△、洲崎

〔大板〕 藤、鶴見
 〔神戶〕 加賀、潜三〇、潜三一、潜三二、潜三三、潜四六、勞山
 〔佐世保〕 霧島、比叡、日向△、長良、龍田△、敷島、肥前、常磐△、須磨、見島、沖島、最上、口樞、櫻、樺、桐、口楠△、桂△、梅△、楓△、口櫻、檜、桃、柳、口竹△、榎△、梨△、樅△、口柿△、栗△、梅△、楡△、口松風、白雪、野分、霞、葦、口潜二一、潜一八、口潜四二、

<p>潜四三、潜四五、 燕、知床、糠袋</p> <p>【新舞鶴】 口安藤、薩摩、 香取、吾妻、筑摩、勝力、新高、對馬、 潮、朝風、子日、 帆風、野風、 口水七三、水七二、水七四、水七五</p> <p>【大連】 口綾波、磯波、浦波</p> <p>【南洋群島】 口石見</p> <p>【浦】 口關東</p> <p>【上】 口明石</p> <p>【漢口】 口磯崎</p> <p>【長沙】 口兩田</p> <p>【宜昌】 口伏見</p> <p>【重慶】 口鳥羽</p> <p>【アーデル】 口出雲、八雲</p>	<p>【航海中】</p> <p>佐多(四日新嘉坡發德山へ) 宇治(八日漢口發南京へ) 青島(十一日鎮海發旅順へ)</p>																		
<p>日進(十二月吳發舞鶴へ) 劍崎(十二月舞鶴發德山へ) 口海風、山風、檜、 室戸(十三日佐世保發馬公へ)</p>	<p>○雜款</p> <p>○郵便物發送先 第十四潜水隊(第二十三、第十九、第二十潜)宛 自今 吳軍艦千代田</p> <p>○赴任 獨國駐在仰付ケラレタル海軍軍醫中佐伏島忠雄ハ來ル 二十三日横濱出港ノ郵船クラスト丸ニテ赴任ノ豫定</p> <p>○神戸「ベスト」有菌鼠發見報(十二月十三日) (内務省衛生局)</p>																		
<table border="1"> <tr> <th>番號</th> <th>發見月日</th> <th>決定月日</th> <th>發見方法</th> <th>發見場所</th> <th>頭數</th> </tr> <tr> <td>二〇</td> <td>十二月九日</td> <td>十二月十日</td> <td>除鼠的消毒方法ノ際發見</td> <td>高濱倉庫第八號</td> <td>一</td> </tr> <tr> <td>二二</td> <td>同</td> <td>同</td> <td>同</td> <td>同 D 上屋內</td> <td>一</td> </tr> </table>	番號	發見月日	決定月日	發見方法	發見場所	頭數	二〇	十二月九日	十二月十日	除鼠的消毒方法ノ際發見	高濱倉庫第八號	一	二二	同	同	同	同 D 上屋內	一	
番號	發見月日	決定月日	發見方法	發見場所	頭數														
二〇	十二月九日	十二月十日	除鼠的消毒方法ノ際發見	高濱倉庫第八號	一														
二二	同	同	同	同 D 上屋內	一														

海軍公報 第二千七百五十九號

大正十年十二月十四日

一〇八一

0688

現場事務所地下室火災
十二月五日、神戸市高濱倉庫内三頭ノ内二頭ハ同庫
向月十日、高濱倉庫一五號トアルハ五五號ノ誤

出雲八雲
島根 島根
岡山 岡山
香取 香取
茨城 茨城
栃木 栃木
群馬 群馬
埼玉 埼玉
千葉 千葉
東京 東京
神奈川 神奈川
新潟 新潟
富山 富山
石川 石川
福井 福井
山梨 山梨
長野 長野
岐阜 岐阜
愛知 愛知
三重 三重
滋賀 滋賀
京都 京都
大阪 大阪
兵庫 兵庫
奈良 奈良
和歌山 和歌山
徳島 徳島
香川 香川
高松 高松
愛媛 愛媛
高知 高知
福岡 福岡
佐賀 佐賀
大分 大分
熊本 熊本
鹿儿岛 鹿儿岛
鹿児島 鹿児島

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
...
...
...
...
...
...
...
...
...

(部内限附録四頁)

0689

大正十年十二月一日

聯合弔慰會專務幹事

聯合弔慰會會員殿

聯合弔慰會弔祭內規左記ノ通定メラレ候條御承知相成度右及御通知候

記

聯合弔慰會弔祭內規

- 一 會員死亡シタルトキハ當該基本會會長ヨリ弔詞ヲ呈スルモノトス
- 二 弔詞ハ葬儀幹事ノ希望ニ依リ弔讀又ハ弔捧シ、二等官以上ノ場合ニ於テハ會長自ラ之ニ當リ、三等官以下ノ場合ニ於テハ專務幹事會長ニ代之ニ當ルヲ例トス
- 三 軍港地ニ於テ會員ノ葬儀ヲ行ントキハ鎮守府人事長當該基本會會長ノ名ヲ以テ弔詞ヲ調製シ第二號ニ準シ在港當該基本會會員之ヲ代讀スルモノトス
- 四 戰死又ハ公務死亡會員ノ海軍葬儀ニ對シ花又ハ柵ノ類一對(基本會名義)ヲルモノトス
前項ノ場合ニハ專務幹事(軍港地ニ在リテハ鎮守府人事長)ノ通知ニ依リ葬儀幹事之ヲ取扱ヒ事後代金ヲ專務幹事ニ請求スルモノトス
- 五 戰死又ハ公務死亡會員ノ合同海軍葬儀ノ場合ニ於テハ重キニ從ヒ適宜本內規ヲ變更スルコトアルヘシ
- 六 第二、第三號ノ規定ニ依ル以外ノ場合ニ於テハ幸使、郵送又ハ電報ニ依リ之ヲ捧呈スルコト

0690